

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) 発表のプレスリリース (18/10/6) より抜粋

独立行政法人 情報処理推進機構 (略称: IPA 理事長: 藤原武平太) は、優れたソフトウェア・プロダクトを表彰する「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー 2006」(後援: 経済産業省、朝日新聞社、日刊工業新聞社、株式会社アスキー) を実施しております。

今年度は、いずれも質の高い67プロダクツの応募がありましたが、厳正な審査を行い8プロダクツを選定し、表彰することに決定いたしました。また、その中から特に優れた1プロダクトを**グランプリ**として表彰します。

ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤーは、ソフトウェア・プロダクトの開発意欲を高め、ソフトウェア・プロダクト市場の拡大及び充実に促進することを目的として、優れたソフトウェア・プロダクトを表彰する制度です。

本表彰により、ソフトウェアの開発意欲を高め、良質なソフトウェア製品の供給を充実化し、我が国の情報化社会の発展に寄与することを目的に平成元年に創設され、今年で第18回目を迎えます。

〔受賞プロダクト〕



【ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー2006 グランプリ】

システム・基盤 分野

- ・「Packeti VPN 2.0 (パケティックスブイピーエヌ)」 ソフトイーサ株式会社
(代表取締役会長 登 大道)



【ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー2006】

システム・基盤 分野

- ・「MatrixEngine embedded」 株式会社ネットディメンション (代表取締役社長 林 徹)

産業・企業・行政 分野

- ・「LookStailor (ルックスステーラテン)」 デジタルファッション株式会社
(代表取締役社長 坂口 嘉之)
- ・「UML モデリングツール JUDE(ジュード)」 株式会社チェンジビジョン
(代表取締役 平鍋 健児)
- ・「サイトクリエイション (SiteCreation)」 サイバーステーション株式会社
(代表取締役社長 福永 泰男)
- ・「会計事務所向け会計 ASP 「BIZUP 発展会計」」 日本ビズアップ株式会社
(代表取締役社長 吉岡 和守)

家庭・個人 分野

- ・「StationTV Digital」 株式会社ピクセラ (代表取締役社長 藤岡 浩)

安心・安全 分野

- ・「富士通アクセシビリティ・アシスタンス」富士通株式会社(代表取締役社長 黒川 博昭)

「サイトクリエイション (SiteCreation)」 サイバーステーション株式会社
(代表取締役社長 福永 泰男)

【概要と選定理由】

サイト管理アプリケーションを中継局により提供するWEB管理システム。

プロのデザイナーやホームページ作成業者に頼んで開設したホームページに手直しを加えるのは、素人では難しいものであるが、ホームページを自由に、簡単に変更を加えることができる革新的なシステム。

クライアントサイドのみならずWEBサーバサイドにおいても、システムやアプリケーションのインストールは一切不要であることが特徴。

WEB2.0の先駆的な具体化としての革新性を評価し、選定された。

「会計事務所向け会計ASP 「BIZUP 発展会計」」 日本ビズアップ株式会社
(代表取締役社長 吉岡 和守)

【概要と選定理由】

会計事務所と顧問先企業をインターネットでリアルタイムに結ぶ会計システム。(会計事務所が主導して自計化を推進。)

サーバとPCに処理を分散し、それぞれの資源を最大限活用する方式を採用することで、性能・機能向上、コスト削減を実現したソフト。

低コスト、実用的なレベルの操作性と性能、充実した会計事務所専用機能、小規模ユーザーから中堅企業クラスまでをカバーする豊富な機能を有する特徴をもつ。

中小企業の“自計化”を旗印に現在躍進中のASPであり、ASPの成功事例として評価し、選定された。

「富士通アクセシビリティ・アシスタンス」 富士通株式会社
(代表取締役社長 黒川 博昭)

【概要と選定理由】

高齢者、視覚障害者、色覚障害者にわかりやすいWEBデザインかを診断するソフトウェアツール群。

使いやすさの向上を目指し、簡単、シンプルな操作性を実現。見てすぐに操作がわかるよう、直感的な画面デザインとしていることが特徴。

日本のメーカーとして数少ない取り組みと、無償で提供するなど、社会的貢献に対して評価し、選定された。